

長崎大学に留学した きつかけは何ですか？

子どもの頃、シンガポールで放映された日本のドラマを見て、日本に興味を持つようになった。進学したシンガポール国立大学では、生命科学を専攻し、鳥インフルエンザなどのウイルスに関する研究をしていましたが、同時に日本語のクラスにも入りました。言葉を学ぶうちに、日本の伝統文化や歴史も知りたいと思うようになり、当時の日本語の先生から留学の情報を得て、大使館推薦での日本政府奨学金で、昨年の春に来日しました。

どんなキャンパスライフを送っていますか？

午前中は講義を受け、午後は所属している研究室で人間の免疫システムについて研究をしています。現在は基礎研究の段階で、いろいろな研究技術を身につけていく予定です。

毎日の研究生活は多忙で、普段は夕方6時、7時くらいまで研究室にいますが、もっと遅くなったり、週末の休みを返上することもあります。

日本での生活はいかがですか？

おおむね良好です。ひとつだけ、慣れないのは気候の変化です。シンガポールは一年を通して高温多湿ですが、日本には四季があります。寒さが苦手な体調をくずすこともありました。

普段の生活では、自宅にもどるとシンガポールの親や友人とメールのやりとりをしたり、本を読んだり、日本や韓国のドラマを見たりして、気分転換をしています。

日本の文化で好きなのは華道です。季節や景色などを考えて花を選び、生けていくのが、とてもクリエイティブだと思います。

故郷の国民性、おいしい食べ物について教えてください。

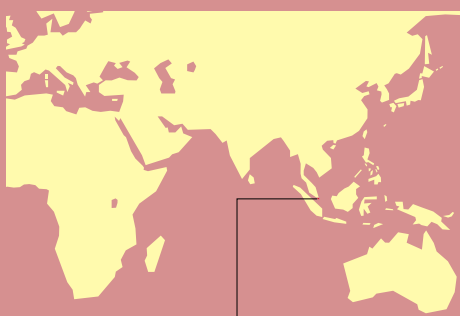
シンガポールの人は率直で、きらいなものや人に対して、ストレートに気持ちを伝えます。だから、イエス・ノーがあいまいな日本人の気持ちはわかりにくいです。

料理は、海南チキンライスがおすめです。中国の海南島出身の人がシンガポールに伝えた料理で、チキンスープで炊き上げたご飯の上に、ゆでたチキンをのせ、チリソースやゴマ油などをかけて食べます。とてもいい香りです。

今後の展開、将来の夢について教えてください。

今、研究がとても面白く、もっと上手に進めていけるようになりたいと思っています。これから5年間、長崎大学で学び、学位の取得をめざします。将来は帰国し、シンガポールの熱帯医学研究所などでウイルスのこと、免疫のことをリンクさせた研究をしたいと思っています。

留学生のキャンパスライフ



シンガポール共和国

Republic of Singapore

東南アジアの金融・経済の中心地、シンガポール。

東京23区とほぼ同じ大きさの小さな

島国ですが、中国系、マレー系、インド系など

たくさんの民族が融合。

さまざまな言語や文化で彩られた

インターナショナル シティです。



今は、免疫の研究に夢中!
がんばって
結果を出していきたいです。

チュア
蔡 君柔さん
Chua Koon Jiew

大学院医歯薬学総合研究科
博士前期課程
生命薬科学専攻 1年



留学生センターの企画で、他の留学生たちと一緒に雲仙へ。



「今、IRF4という免疫因子がタンパク質の種類ごとに、どんな相互作用をするのか、といったことについて研究しています。細胞のベースに合わせて行う研究は時間がかかり、当然、研究室で過ごす時間が長くなります。